

# 中国・むらからの新機軸

## 趣 旨

集団化経営の廃止や請負制の導入が中国農業のあらゆる分野に成長をもたらした。その一方で、化学製品の大量使用に伴う緑の革命的な農業生産の展開は、土壌の有機質を破壊し、農村教育への低投入が人的資源の再生を阻止した。

本シンポジウムでは、「有機農業と農村教育」今後中国のむらの再建と発展に当たっての新たな機軸について議論する。

日時：2023年 **3月11日(土)** 14時～17時

場所：愛知大学名古屋校舎 厚生棟3階 W31会議室

◆総合司会：孟 哲男 (ICCS客員研究員、大阪商業大学主任研究員)

◆開会挨拶：高橋 五郎 (愛知大学名誉教授、ICCSフェロー)

◆基調講演Ⅰ **胡 柏** (愛媛大学教授)

「有機農業の世界的拡大の意味—日本と中国を中心に—」

コメンテーター：高橋 五郎 (愛知大学名誉教授、ICCSフェロー)

◆基調講演Ⅱ **大島 一二** (ICCS客員研究員、桃山学院大学教授)

「中国における都市と農村の教育格差の実態と格差の再生産構造—河北省邯鄲市の調査事例を中心に—」

コメンテーター：金 湛 (ICCS運営委員、愛知大学教授)

◆一般討論

◆閉会挨拶：金 湛 (ICCS運営委員、愛知大学教授)

◆申込方法◆

右のQRコード、または下記URLよりお申し込みください (参加無料)

<https://iccs.aichi-u.ac.jp/event/entry-4899.html>

(ただし、愛知大学ICCS日中農業研究会メンバーの申し込みは不要)



申込締切：3月9日(木)

主催 愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)